

## 第VII章 検討会の資料作成支援・ヒアリングの実施

### VII.1 検討会資料作成支援

本業務の実施に際し、別途発注業務において開催する調査方針及び調査結果の取りまとめに関する検討会(全2回)の資料作成を支援するとともに、円滑な議事進行に協力した。

検討会の開催年月日と作成資料は、以下に示すとおりである。

#### (1) 第1回 令和3年度海洋ごみの実態把握と効果・効率的な海洋ごみ回収に関する検討会

開催日時：令和3年9月1日(水) 15:00～17:00

議 事：海洋ごみ回収に係るヒアリング、現地調査計画について

作成資料：

資料 5-1 漁業者の協力による海洋ごみ回収実証業務(ヒアリング・現地調査計画)について

参考資料 5 R2年度海洋ごみ現地調査結果

#### (2) 第2回 令和3年度海洋ごみの実態把握と効果・効率的な海洋ごみ回収に関する検討会

開催日時：令和4年2月16日(水) 15:00～17:00

議 事：漁業者と自治体の協力による海洋ごみ回収に係るマニュアル(案)及び現地調査について

作成資料：

資料 4-1 漁業者と自治体の協力による海洋ごみ回収マニュアル(仮称)(案)について

資料 4-2 海洋ごみ回収マニュアル完成に向けた令和4年度の検討内容について

資料 4-3 海洋ごみ現地調査結果(速報)抜粋及び令和4年度の効果測定手法等について

参考資料 4 漁業者と自治体の協力による海洋ごみ回収マニュアル(案)策定事業の全体計画

参考資料 5 漁業者と自治体の協力による海洋ごみ回収に関する分科会 指摘対応事項と対応方針

参考資料 6 海洋ごみ現地調査結果(速報)

## VII.2 ヒアリング等の実施

ヒアリングは第1回検討会の実施前に、分科会は第1回検討会の実施後に、それぞれ開催した。ヒアリング及び分科会の実施概要を表 VII.2-1 に示す。

ヒアリングの主目的は、第1回検討会に提出される資料（調査方法、日数等）の事前確認であり、分科会の目的は、第1回検討会における議論をより詳細に深めるための予備審議であった。分科会の議事次第及び出席者は図 VII.2-2 のとおりである。

表 VII.2-1 ヒアリングと分科会の概要

実施内容	実施日	委員(五十音順)	検討内容
ヒアリング	2021年8月19日 15:00~16:10	長崎大学 清水健一先生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回検討会に向けての資料確認</li> <li>・調査方法・日数について</li> </ul> 等
分科会	2022年1月13日 10:30~12:00	九州大学 磯辺篤彦先生 東京海洋大学 内田圭一先生 東京海洋大学 東海 正先生 (メールにて資料確認) 長崎大学 清水健一先生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宗像市沿岸域における底刺し網を用いた海洋ごみ回収について</li> <li>・漁業者と自治体の協力による海洋ごみ回収マニュアル案について</li> <li>・漁業者の協力による海洋ごみ回収実証業務（現地調査状況）について</li> </ul>

## 漁業者の協力による海洋ごみ回収に関する分科会

### 議事次第

日時：令和 4 年 1 月 13 日（木） 10：30～12：00

場所：Web開催

#### ■議事

開会(10：30)

1. 環境省あいさつ
2. 資料の確認
3. 出席者の紹介
4. 議事

- (1) 宗像市沿岸域における底刺し網を用いた海洋ごみ回収について [資料1] (20分)
- (2) 漁業者と自治体の協力による海洋ごみ回収マニュアル案について [資料2・参考資料1] (30分)
- (3) 漁業者の協力による海洋ごみ回収実証業務（現地調査状況）について [資料3] (15分)
- (4) 総合討論 [資料4] (20分)

5. 連絡事項

閉会(12：00)

#### ■配布資料

- ・議事次第・出席者名簿
- ・資料 1 宗像市沿岸域における底刺し網を用いた海洋ごみ回収について
- ・資料 2-1 マニュアル策定事業の全体計画
- ・資料 2-2 漁業者と自治体の協力による海洋ごみ回収マニュアル(仮称)
- ・資料 2-3 海洋ごみ回収マニュアル案についてご議論いただきたい内容
- ・資料 3 漁業者の協力による海洋ごみ回収実証業務（現地調査状況）
- ・資料 4 全体を通してご議論いただきたい内容
- ・参考資料1\_漁業者と自治体の協力による海洋ごみ回収マニュアル(仮称) 骨子案

図 VII. 2-1 分科会議事次第

漁業者の協力による海洋ごみ回収に関する分科会  
出席者名簿

検討委員(五十音順、敬称略)		
	磯辺 篤彦	九州大学応用力学研究所 教授
	内田 圭一	東京海洋大学大学院海洋資源エネルギー学部門 准教授
(欠席)	清水 健一	長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科 海洋生産システム学分野 教授
	東海 正	東京海洋大学学術研究院 教授
環境省		
	山下 信	水・大気環境局水環境課海洋環境室 室長
	櫻井 希実	水・大気環境局水環境課海洋環境室 室長補佐
	藤本 諒	水・大気環境局水環境課海洋環境室 環境専門調査員
事務局 三洋テクノマリン株式会社		
	島田 久子	東京支社技術部 副部長
	入江 正己	東京支社技術部 環境コンサルタントグループ
	馬込 伸哉	東京支社技術部 環境コンサルタントグループ
	渡邊 真由子	東京支社技術部 環境コンサルタントグループ
一般財団法人日本環境衛生センター		
	鈴木 弘幸	東日本支局 事業推進役
	村岡 良介	東日本支局 環境事業本部 特別参事
	古関 明美	研修事業部 主任
オブザーバー		
	吉川 千景	水産庁増殖推進部漁場資源課海洋保全班 課長補佐

図 VII. 2-2 分科会出席者名簿

リサイクル適性の表示：印刷用の紙にリサイクルできます

この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料〔Aランク〕のみを用いて作製しています。